

### 第3学年国語科学習指導案

日 時 令和6年10月2日(水)  
 第5校時 13:10~13:55  
 対 象 第3学年3組 31名  
 授業者 溝上 紀子  
 会 場 3年3組教室

- 1 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう  
 教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

2 単元の目標

- ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けることができる。
- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
- ・幅広く辞書に親しみ、辞書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。

3 題材の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。</li> <li>・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。</li> <li>・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しをもち、積極的に説明される内容とそれを支える事例との関係などについて叙述を基にして捉えようとしている。</li> <li>・目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見付けたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫を生かした文章を書こうとしている。</li> </ul>

4 指導観

(1)題材観

関連する学習指導要領における領域別目標は以下の通りである。

<p>(2)情報の扱い方に関する事項</p> <p>○情報と情報の関係</p> <p>ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。</p>
--

## (2)児童観

本学級の子供たちは、1学期に「こまを楽しむ」で説明文教材について学習し、段落や「初め」「中」「終わり」を意識して学習をした。読む学習については、1・2年で既習の「初め」の部分に「問い」があり、「中」の部分に「答え」、「終わり」には筆者の願いや要旨が書かれている文章構成は理解している。しかし、筆者の考えや願いを的確に捉えたり、文章の内容を要約したりすることを自分一人で行うことが難しい児童が複数名在籍している。友達の発表を聞いて気付いたり、板書に書かれた内容を見て理解したりして、見聞きしたまま書き写すような現状である。そこで、今回はヒントなどの手掛かりから自分の考えをもつことができるようにし、読みの力を付けていきたい。

書く学習については、文章を書く時は構想メモを書き、順序を考え、段落を分けて書くようにしている。しかし、時間の流れに沿って書く児童が多く、どの順序で書いたら効果的かを考えて書く児童は少ない。また、つなぎ言葉については、つなぎ言葉の種類や役割についての理解は不十分であると感じている。

授業では、自分の考えをもち、自分の考えと友達の考えの違いや良さに気を付けて聞くことを大切に学習に取り組むことができている。相手の話を聞き、自分の考えと同じところや違うところに気を付けて聞くことで、自分と違う考えが分かり、考えが深まることがあることを実感している児童が多い。一方で、人の話を聞いて、相手の話の内容が分からなくても聞き返さずにいる児童もいるため、よく分からない時は聞き返すように指導している。また、自分の考えを発表する時に、根拠をはっきりさせて考えを言うことができない児童もいるため、根拠のある発表の仕方について日々指導を重ねているところである。さらに、友達と考えを伝え合う時には、同じ考えや似た考えにも自分の言葉で付け足して表現することを推奨している。それにより、互いに表現を高め合っていくことを期待したい。

## (3)教材観

本教材は、大豆やその加工食品について書かれたもので、児童にとって身近な内容である。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは原料が大豆とは分からないものも多く、児童に新鮮な驚きをもたらすと考えられる。自分の食生活や日本の食文化を見つめ直すことにつながり、食育という観点からも貴重な題材である。

「すがたをかえる大豆」は、大豆をおいしく食べるための工夫を5つの例で説明している典型的な解説型の文章である。まずは、「初め」「中」「終わり」の全体の組み立てを読み取っていく。次に、文章の構成について捉える。児童がこれまで学習してきた説明文教材には「初め」に「問い」の文があり、「中」に「問い」に対する「答え」の文が書かれていたが、今回の「すがたをかえる大豆」には「問い」がないという点をしっかり押さえておきたい。そして「中」の段落は、並列の関係にあり、各段落の説明の中心となる文に着目することで、段落相互の関係を捉えさせたい。また、「いちばん分かりやすいのは」「さらに」などのつなぎ言葉を細かく読み取ることで、事例が提示される順番について考えて、形が分かりやすいものから形が変わり気付きにくいものの順で説明されていることや、どうしてそのように書いたのかについて考えていきたい。

各事例の段落の並び方や、事例ごとに写真と文章が対応していることなど、「すがたをかえる大豆」には、様々な点で読者に内容を分かりやすく伝えるための説明の工夫が見られる。説明の工夫について考えをまとめ、自分の『すがたをかえる食べ物事典』を書く時に活用できるようにしたい。

## 5 年間指導計画における位置付け

- 第1学年 うみのかくれんぼ
- 第1学年 じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう
- 第2学年 紙コップ花火の作り方
- 第2学年 おもちの作り方をせつめいしよう
- 第3学年 紋様／こまを楽しむ
- 第3学年 全体と中心
- 第3学年 ポスターを読もう

6 単元の指導計画と評価計画（全13時間）

	学習活動（○）と予想される児童の反応（・）	主な留意点（・）と評価（◇）
1	<p>○大豆を使った食品には何があるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とうふです。</li> <li>・納豆です。</li> </ul> <p>○「すがたをかえる大豆」を通読して大体の内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を使った食品はいろいろあるんだな。</li> </ul> <p>○大豆に手を加える時の言葉「いる」「にる」のような言葉の意味や意味の分からない言葉を国語辞典で調べ、内容の理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を使った食品の実物や写真を見せて、大豆についてのイメージをもつことができるようにする。</li> <li>・ワークシート①に取り組みせる。</li> </ul> <p>◇文章を通読して、大豆に手を加えるときの言葉や意味の分からない言葉を国語辞典で調べることができる。（知・技）</p>
2	<p>○大豆以外に姿を変える食品はないか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳、米などがあるな。</li> </ul> <p>○「すがたをかえる食べ物事典を作ろう」という学習課題を考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳の食べ物事典を作りたいな。</li> <li>・「すがたをかえる大豆」の文を読み、説明の仕方のポイントを見付け、自分の食べ物事典に学習したことを生かしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の考えを発表させ板書し、すがたをかえる食品は、身近な食品にたくさんあることに気付かせる。</li> <li>・ワークシート②に取り組みせる。</li> <li>・自分の「すがたをかえる食べ物事典」を書いてみたいという意欲を高める。</li> </ul> <p>◇文章を通読して、内容の大体を捉え、学習課題を考えることができる。（態度）</p>
3	<p>○文章構成を確かめ、文章全体の組み立てを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」に分かれている。</li> </ul> <p>○「初め」と「終わり」を読んで、内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」には、大豆がいろいろな姿で食べ方の工夫がされてきた理由が書かれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」の役割について考えさせる。</li> <li>・「問い」について考えることで、文章全体の話題を捉えて読み進めることができるようにする。</li> <li>・教科書の言葉や文章を色分けし、視覚的に分かりやすくする。</li> <li>・ワークシート③に取り組みせる。</li> </ul> <p>◇文章の内容から文章全体の組み立てを捉えることができる。（思・判・表）</p>
4	<p>○大豆をおいしく食べる工夫と具体例を整理して、表にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」には、大豆をおいしく食べる工夫が書いてある。</li> <li>・最初の文が中心文だ。</li> </ul> <p>○写真を説明の順番に並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文をよく読んで、並べてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を加工するときに使われる言葉に注意しながら、各段落でどんな工夫が書いてあるかを捉えることができるようにする。</li> <li>・中心文が最初にあることを確認し、その分かりやすさに気付くようにする。</li> <li>・それぞれの段落に出てくる食品をまとめ、「初め」「中」「終わり」に分けさせる。</li> <li>・ワークシート④に取り組みせる。</li> <li>・一人・ペア・グループで学ぶことの良さを理解させてから学習に取り組みせる。</li> </ul> <p>◇段落の中心となる文を捉えることができる。（思・判・表）</p>
5 (本時)	<p>○「中」を読んで、分かりやすい説明の仕方のひみつについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番は、形が分かるものから気付きにくいものの順に書いてある。</li> <li>・文章に合う写真を使うと分かりやすい。</li> <li>・つなぎ言葉は、「次に」「また」のほうが分かりやすくて良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を挙げる順番も文章の工夫であることを捉えることができるようにする。</li> <li>・つなぎ言葉の使い方の工夫を考えることができるようにする。</li> <li>・ワークシート⑤に取り組みせる。</li> <li>・一人・ペア・グループで学ぶことの良さを確認してから学習に取り組みせる。</li> </ul> <p>◇分かりやすい説明の仕方のひみつを考えることができる。（思・判・表）</p>

6	<p>○担任が作った「すがたをかえる食べ物事典」の文章から、説明の仕方のひみつについて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方のひみつと同じだな。</li> </ul> <p>○単元の学習をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の仕方のひみつが分かった。自分が食べ物事典を書くときに使いたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で使われていた説明の仕方のひみつと、担任が作った「すがたをかえる食べ物事典」で説明されていることを比べよう促す。</li> <li>・ワークシート⑥に取り組みさせる。</li> </ul> <p>◇大豆の他の文章を読んで、説明の仕方のひみつを見付けることができる。</p> <p>(思・判・表)</p>
7	<p>○調べる題材について、本やインターネットで調べて図や表に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことをグループで整理する。</li> <li>・図や表に整理すると分かりやすいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる時は、カードを利用し必要なことをメモするようにする。</li> <li>・調べたカードは、グループで話し合って整理するようにする。</li> <li>・ワークシート⑦に取り組みさせる。</li> </ul> <p>◇必要になる事項と観点を理解し、調べることができる。(知・技)</p>
8	<p>○「すがたをかえる大豆」の学習で学んだ説明の仕方のひみつを生かして、自分の食べ物事典の組み立てを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する順番を考えて組み立てを考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」「中」「終わり」の構成を考え、「中」の部分の例の挙げ方について、段落の分け方や順番などを考えることができるようにする。</li> <li>・3つ以上の例を挙げて書くようにする。</li> </ul> <p>◇分かりやすく説明する文章の書き方をふまえ、「初め」「中」「終わり」の構成で組み立てを考えることができる。</p> <p>(思・判・表)</p>
9	<p>○組み立てに沿って下書きを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」のまとまりの例はもっと分かりやすく書くといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した構成や接続語などを参考に書くようにする。</li> <li>・ワークシート⑧に取り組みさせる。</li> </ul> <p>◇適切に事例を挙げて、食べ物事典を書くことができる。(思・判・表)</p>
10	<p>○組み立てに沿って下書きを書き、推敲する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番やつなぎ言葉は正しいかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した構成や接続語などを参考に書くようにする。</li> </ul> <p>◇適切に事例を挙げて、食べ物事典を書くことができる。(思・判・表)</p>
11	<p>○グループの友達と食べ物事典を読み合っ、助言し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番が分かりやすいな。</li> </ul> <p>○友達のアドバイスをいかしながら食べ物事典を清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのアドバイスを生かして、つなぎ言葉に気を付けて清書しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の食べ物事典を読んで良い所や直した方が良い所を助言し合うようにする。</li> <li>・友達のアドバイスを生かして清書するようにする。</li> <li>・ワークシート⑨に取り組みさせる。</li> </ul> <p>◇「中」で内容のまとまりごとに段落を分け、理由や事例を挙げて食べ物事典を書くことができる。(思・判・表)</p>
12	<p>○いろいろな友達と互いに読み合い、説明の仕方のひみつについて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんは、説明が分かりやすくいいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の説明の良さについて気付いたことを付箋に書いて交流するようにする。</li> </ul> <p>◇互いの書き方を比べ、上手に説明している人に気付くことができる。(態度)</p>
13	<p>○学習のふり返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方のひみつを自分の食べ物事典に生かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で学んだことを生かして自分の食べ物事典を書くことができたかふり返りをさせる。</li> </ul> <p>◇学習で学んだ分かりやすい説明の仕方のひみつを生かして食べ物事典を書くことができたかふり返ることができる。(態度)</p>

## 7 手立て

### (1) 児童が主体的に学習するための手立て

#### ①個別最適な学びとなる手立て

書きたいという意欲を引き出すためには、まず基本的な書き方に関する知識が必要であると考えられる。書くための知識・技能習得のために、まずは読む力を付ける。初めに、ワークシートに「初め」「中」「終わり」の段落構成や説明の工夫、つなぎ言葉をまとめられるようにする。次に、すがたをかえる大豆の写真を並べ替えて貼る活動により、視覚的に文章の順番を意識できるようにする。

#### ②ヒントカードの作成

自力で課題の解決をすることが難しい児童に対して、ヒントカードを用意し、得たヒントから自分で考えられるようにする。ヒントは、特に気付いてほしいものに絞って3つ程度用意し、選択できるようにする。本時では、①提示するものの順番に注目させるもの ②つなぎ言葉に注目させるもの ③段落の冒頭に結論がある点に注目させるもの 以上の3つのヒントカードを用意する。また、ヒントを難易度別に提示することで、課題に対してより意欲的に取り組めるようにさせる。

#### ③ICTの活用

『すがたをかえる食べ物事典』等を作成する際に、本だけではなく、タブレットを活用して調べ学習を行う。その際には、どのページから引用したのかを明確にして、調べた内容をまとめるようにする。

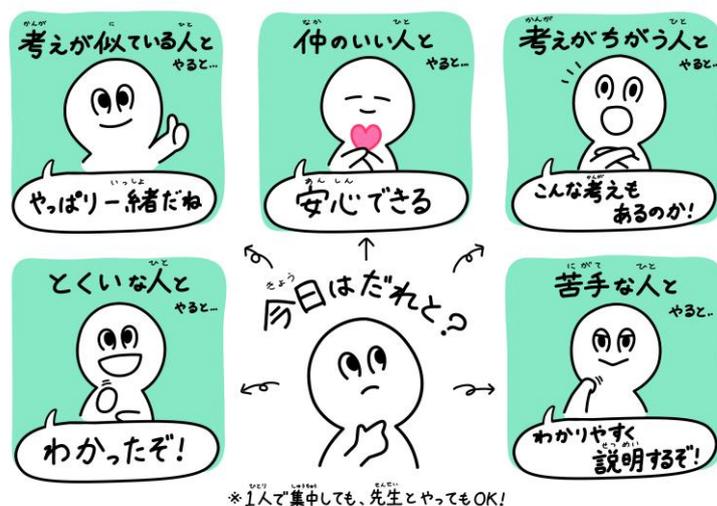
#### ④振り返り

授業の終わりに毎回振り返りを書き、児童本人が分かったことを積み重ねて成長できたことを実感できるようにする。その際、毎時間のめあてを授業開始時に確認することで、振り返りの視点を明確にしていくようにする。また、児童同士が分かったことなどの交流ができるようにする。授業の内容によって、児童が振り返るべき内容はさまざまである。振り返りの内容を児童が選択し考えられるようにしたり、指導者側から振り返りの内容を焦点化したりすることで、より意義のある振り返りができるようにする。

### (2) 協働的な学習の手立て

#### ①交流の仕方の工夫

一人、ペア、グループなど、学習の理解度により自分で学習形態を変えて学習する。その際、目的意識をもって相手を選ぶことができるように掲示物を工夫する。中学年部会では、交流する前の自分と、交流した後の自分をイラストにして、相手を選ぶことでどんな変容があるかを分かりやすく示すことを意識した。これにより児童が学び方の取捨選択を視覚的にも考えやすくなるようにした。



必要に応じて適宜交流を取り入れることで、いろいろな友達の考えを聞き、自分の考えとの違いに気付くことができるようにする。自分の考えを整理したり、友達に相談したりできることが気軽にできる環境を作り、すぐに相談できるようにすることで児童が他と高め合い学習ができるようにしていきたい。

②深い学びや考えの伝え方の工夫

自分の考えと友達のことを比べたり、考えをつないだり、問い返したりすることで、自分の考えを深めていくことができるようにする。また、自分の考えを表現しにくい子供には、教師が注意して見取り、考えを発表できるように意識して指名をするような支援をしていくようにする。

(3) 一体的な充実のための手立て

①必要感の生まれるゴールの設定

最終ゴールを意識させることで、目的意識をもって取り組めるようにする。児童が作成した食べ物事典等をまとめ、完成した『3年3組のすがたをかえる食べ物事典』を学校図書館へ展示して校内の誰もがみられるようにする。目的を明確にして、意欲をつなげていけるようにする。

8 本時の指導 (全13時間中の第5時)

(1) 本時の目標

「中」の段落の内容を読み取り、分かりやすい説明の仕方のひみつについて考えることができる。

(2) 本時の展開

	主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・)	主な留意点や支援 (・) と評価 (◇)
導入 5分	<p>1. 本時の課題を確かめる。</p> <p>○前の時間は、「中」を詳しく読み、どんなことが説明されているのか読み取りました。今日は、分かりやすい説明の仕方のひみつを見付け、自分が食べ物事典等を書く時に生かせるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任が作った食べ物事典の文章(誤例)を掲示し、分かりやすい説明の仕方のひみつを見付けられるように意識付ける。</li> <li>・見付けた説明の仕方のひみつを自分の食べ物事典等を書く時に生かすということで意欲を高めるようにする。</li> <li>・本時の課題を知り、学習への見通しをもって活動できるようにする。</li> </ul>
「中」を読んで、分かりやすい説明の仕方のひみつを見付けよう。		
展開 30分	<p>2. 分かりやすい説明の仕方のひみつを考える。</p> <p>○分かりやすい説明の仕方のひみつは何かを文章を読んで考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み、分かりやすい説明の仕方のひみつを探す。(一人、ペア、グループ)</li> </ul> <p>3. 見付けた分かりやすい説明の仕方のひみつを発表し、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形が分かりやすいものから形が分かりにくいものや小さな生物の力を借りているものの順に書いています。だんだん形が変わっていくので分かりやすいです。</li> <li>・段落の始めに、「いちばん分かりやすいもの」から、「次に」「また」「さらに」と、どんどん違うものになっていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート⑤に取り組みさせる。</li> <li>・掲示物を利用して一人・ペア・グループ(3人まで)で学ぶことの良さを確認してから学習に取り組みさせる。</li> <li>・友達に声を掛けられずに困っている児童には、ペアのグループに入れてもらえるように配慮する。</li> <li>・ひみつを自力で見付けることができない児童のために、活動開始2分後に課題の解決に繋がるヒントカードを3つ用意して、選択できるようにする。</li> <li>・題名の「すがたをかえる」という言葉に着目し、説明の順番には形が分かるもの、身近なもの、加工が単純なものから、形が分からないもの、意外なもの、加工が複雑なものへと展開されていることの良さに気付くことができるようにする。</li> <li>・つなぎ言葉を変えて、文のつながりがどうなるか実際にやってみることで、説明の工夫に気付くことができるようにする。</li> </ul>

	<p>のが分かりやすく書いてあると思います。「一つ目は」「二つ目は」よりも、レベルが上がっていることが伝わりやすいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の始めにすぐに答えを書いているから分かりやすいと思います。詳しく知りたい人は、その後を読めばわかるようにしているのだと思います。</li> <li>・写真をたくさん使っているから分かりやすいと思います。どこに何が書いてあるのか、どんなもののかを書いているのがよくわかるようにしているのだと思います。</li> <li>・段落を分けて読みやすくしていると思います。話が変わることが伝わりやすいようにしているのだと思います。</li> <li>・丁寧な言葉遣いをしていると思います。話し言葉ではないので読みやすいと感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つ目は」「二つ目は」は並列で、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」は段階が上がって行くという、その違いや効果に気付くことができるようにする。子供たちが気付かない時は、教師が「一つ目は」「二つ目は」を使った例文を出してその違いや効果に気付くことができるようにする。</li> </ul> <p>◇分かりやすい説明の仕方のひみつについて考えることができたか。 (観察・発言・ワークシート)</p>
<p>終末 10分</p>	<p>4. 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> <p>○今日の学習で分かった説明の仕方のひみつや、自分で学習の仕方を選んだ感想を振り返りカードに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の順番は、形が分かるものから形が分かりにくいものの順に書いた方が分かりやすいと思いました。</li> <li>・○○さん～のという考えが分かりやすかったから、次も考えを聞いてみたい。</li> </ul> <p>○次の時間は、今日見つけた分かりやすい説明の仕方のひみつを使って、先生が作った食べ物事典を読みやすい文章に直してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容に沿った振り返りを書くことができるようにする。</li> </ul> <p>【説明の仕方のひみつ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 説明の順番 <ul style="list-style-type: none"> <li>・形が分かるものから形が分からないもの</li> <li>・身近なものから馴染みのないもの</li> <li>加工が簡単な物から複雑な物</li> </ul> </li> <li>② つなぎ言葉</li> <li>③ 文章の最初に答え(工夫)</li> <li>④ 写真を使う</li> <li>⑤ 段落に分ける</li> <li>⑥ 丁寧な言葉遣い</li> </ol>

(3) 本時の評価

- ・「中」の段落の内容を読み取り、分かりやすい説明の仕方のひみつを考えることができたか。

(4) 授業観察の視点

1. 個別最適な学び

ワークシートやヒントカードの活用は、「初め」「中」「終わり」の段落構成や説明の工夫、つなぎ言葉などを理解し、分かりやすい説明の仕方のひみつを見付けるのに有効的だったか。

2. 協働的な学び

ペアやグループ交流など、必要に応じて交流をする時間を設けることは、いろいろな友達の考えを聞き、自分の考えとの違いに気付くことができることに有効的だったか。